



# Global Logistics

明日の日本を、世界を、動かせ！

第 39 期

## International Logistics Master Course

### ▶▶▶ 国際物流管理士資格認定講座

#### 第 39 期 国際物流管理士 資格認定講座 開催日程

- 第1単元：9月6日(水)・7日(木)
- 第2単元：9月7日(木)・20日(水)・21日(木)
- 第3単元：10月3日(火)・4日(水)
- 第4単元：10月18日(水)
- 第5単元：10月19日(木)・11月9日(木)・10日(金)
- 現地見学：10月20日(金)
- 第6単元：11月21日(火)・22日(水)
- 第7単元：12月5日(火)・6日(水)
- 第8単元：1月18日(木)・19日(金)
- 第9単元：2月1日(木)・2日(金)
- 認定証授与式：3月9日(金)

#### ▼本講座ではこのような人材を育てます

- ・ 国際物流の基本から法規制や最新動向まで理解し、海外でのサプライチェーンの構築・改善ができる人材
- ・ 顧客に対して国際物流を含めた企画提案ができる人材
- ・ 将来の海外駐在要員としてグローバル視点を持ってマネジメントができる人材

## 第39期『国際物流管理士資格認定講座』開催にあたって

新興国における経済が高成長を続け、世界規模での最適地調達、最適地生産など企業活動のグローバル化が進展し、企業経営においては、国際競争を勝ち抜くためのグローバルロジスティクスの重要度が高まっております。

製造業においては、グローバルな視点に立った生産拠点、物流拠点の配置による、消費地へのシームレスな物流構築のため、国際物流のシステム革新やローコストオペレーションの推進が不可欠であると認識されています。

また、物流企業においては、国際物流の効率化を支援するためのシステム提案型のサービス提供が不可欠となり、顧客である荷主のグローバルロジスティクス構築のために果たす役割が大きくなっております。

このような状況のもと、産業界では国際競争力強化のため、国際物流の専門知識と管理技術を習得したスペシャリストが求められております。

「国際物流管理士資格認定講座」は、わが国唯一の国際物流のスペシャリスト育成講座として1979年の開講以降、1,498名の「国際物流管理士」を輩出し、産業界より非常に高い評価をいただいております。

第39期を迎える本講座は、広範に渡る国際物流について、概論から応用までわかりやすく解説するとともに、企業事例や物流施設見学、グループ討議やケーススタディなどを取り入れた、実務に直結するカリキュラム構成としております。

国際物流のスペシャリストの育成に、ぜひ本講座を積極的にご活用くださいますようお願い申し上げます。



能力開発委員会 国際物流管理士専門委員会  
委員長 石原 伸志  
(東海大学 海洋学部 客員教授)

## 国際物流人材に関して、こんな悩みはありませんか？

- 国を跨ぐ調達・生産・物流といったサプライチェーンの構築・改善について企画・立案・実践・見直しができる人材を育てたい。
- 国際物流の現状を把握した上で、課題の設定や解決に向けた中心的な役割を担うリーダーを育成したい。
- 顧客のニーズを的確に捉え、シーズの発掘を積極的に行うことができる、企画提案力を持った人材を育成したい。
- 顧客に対し、国際物流を含めた複合提案ができるような人材を育てたい。
- 多国間取引の増加に伴い、国際物流の基本に加えて最近のFTA/EPAの条約等の国際法規・ルールを習得した、ロジスティクスの円滑化に貢献できる人材を育てたい。
- 次代の海外駐在要員として、各国の物流事情の把握、現地マネジメント手法を身につけた、グローバル視点を持つ人材を育てたい。

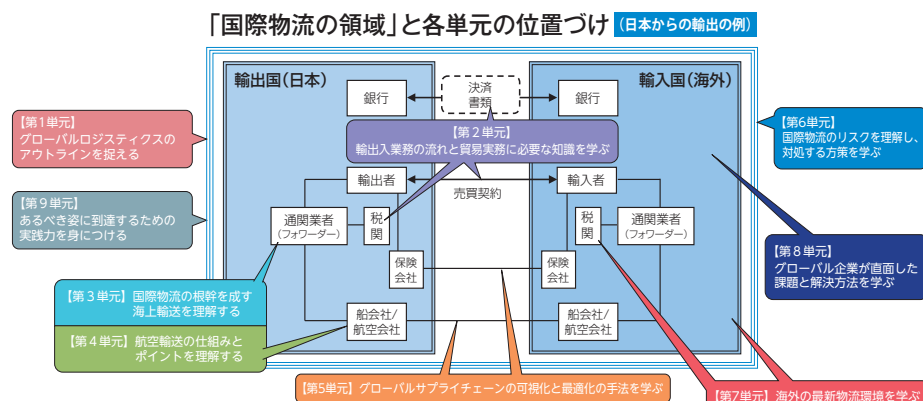
## 本講座では、実務への応用が可能なスキルを身につけていただきます

- 国際物流に関する**専門知識**や**マネジメント技術**、**最新情報**や**企業事例**を総合的に学べます！
- **グループ討議**や**ケーススタディ**を通じて、**実践力**を習得します！
- **様々な業種・役職**の方々との交流を深め、実務では得がたい**ヒューマンネットワーク（人脈）**を構築します！
- **世界**で使える**わが国唯一の国際物流スペシャリストの証「国際物流管理士 International Logistics Master」**の資格が得られます！

- ① 国際物流やグローバルロジスティクスに関する専門知識を有し、実務で活かすことができる。
- ② 自社の物流の現状を把握し、問題発見や解決すべき課題を設定することができる。
- ③ 課題解決策を立案し、国内外問わず、社内外の関係者の理解と協力を得ながら実行することができ、さらにその効果を評価することができる。
- ④ グローバルレベルで全体最適を志向し、幅広い視点で新たな事業やサービスを企画・提案することができる。
- ⑤ 海外赴任先において、異なった価値観や習慣を持つ現地スタッフに対して、指導や権限委譲を行いながら、チームとしてまとめ、実務を遂行することができる。



## 第39期国際物流管理士資格認定講座カリキュラム



# 第39期 国際物流管理士資格認定講座 カリキュラム

\* 講師の都合等によりスケジュールに変更が生じる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

会場 JILS 研修室

## 第1 単元

### グローバルロジスティクスのアウトラインを捉える

国際物流からロジスティクス、サプライチェーンへの展開等を学び、次単元以降の講義を理解するための基盤作りを行う。また、グループ討議を通じて、課題解決への実践的な考え方等を学ぶとともに、異業種メンバーによる交流とヒューマンネットワークの形成を図る。

(敬称略)

日 程	時 間	講義テーマ	講義内容	講 師
9月6日(水)	9:30～ 9:45	開講式		
	9:45～11:15	国際物流とロジスティクス	国内物流との違い、国際物流の形態の変化 国際物流で求められる知識とは	石原 伸志 東海大学 海洋学部 客員教授
	11:20～11:50	講座オリエンテーション	修了要件・認定要件・課題等、本講座の規程に関する説明をします	事務局
	12:50～17:00	グループ討議 国際物流の現状・自社の課題認識 と解決の考え方	国際物流の現状や自社の課題を認識し、グループ内で原因の分析や解決に向けた取り組みについて検討していただきます	大森 幹雄 日本ロジスティクスシステム協会 JILS アドバイザー
	17:00～17:30	昨年度総代による講演	講座を受講するにあたってのポイント、体験談	山崎 大輔 東京海上日動火災保険(株) コマーシャル損害部・関西海損サービスク 担当課長
	17:30～19:00	キックオフミーティング (交流会)	他の受講者との親睦を深めます	
9月7日(木)	9:30～13:00	グループ討議 (続き) 国際物流の現状・自社の課題認識 と解決の考え方	昨日に引き続きグループ討議を行います。その後検討結果を発表していただきます	大森 幹雄 日本ロジスティクスシステム協会 JILS アドバイザー

会場 JILS 研修室

## 第2 単元

### 輸出入業務の流れと貿易実務に必要な知識を学ぶ

国際物流に携わる上で、通関、インコタームズ、決済、外国為替、国際ファイナンス等、輸出入に関わる事項の習得は不可欠である。本単元では、ウィーン売買条約等の最新情報を盛り込みながら、輸出入業務について、基礎から分かり易く解説する。

(敬称略)

日 程	時 間	講義テーマ	講義内容	講 師
9月7日(木)	14:00～17:00	FTA と EPA、原産地規則、 AEO 制度	FTA・EPA の概要、わが国が締結している FTA・EPA について、締結による物流業務への影響、今後の展望、AEO 制度について	宮崎 千秋 公益財団法人日本関税協会 調査・研究グループ 担当部長
9月20日(水)	9:30～12:30	輸出入における通関業務と 保税手続き、通関システム	輸出入手続きの概要 (申告すべき事項・関税率等) 手続きの適正化と迅速化の概要、保税手続きの説明、 通関システム	井川 武志 山九(株) LS 事業本部 国際・港運事業部 港運部 通関・保税管理グループマネージャー
	13:30～16:30	国際マーケティングとインコタームズ、 ウィーン売買条約	トレード・タームズ (貿易取引条件) とは インコタームズ2010・ウィーン売買条約のポイントの解説	小林 二三夫 横浜商科大学 商学部 教授 地域産業研究所 所長
9月21日(木)	9:30～16:30	貿易売買契約と各種決済方法、 外国為替とリスクヘッジ、 国際ファイナンス	貿易取引の流れ、信用状統一規則、銀行の外国為替 業務輸出入取引の流れと留意すべきポイント、リス クヘッジ	井上 泰伸 日本貿易学会
レポート提出日		2017年10月6日(金) 13:00まで		

第3  
単元

## 国際物流の根幹を成す海上輸送を理解する

海上貨物輸送は全世界における貿易の約9割で用いられており、国際物流を進める上で不可欠となっている。本単元では、海上貨物輸送の概論からフォワーダー、荷主企業の取り組みまで解説する。

(敬称略)

日 程	時 間	講義テーマ	講義内容	講 師
10月3日(火)	9:30~12:00	NVOCC と国際複合輸送	フォワーダーとNVOCCの違い、国際複合輸送ルートの特徴と問題点、輸入フォワーディング業務の流れ、仲介貿易、運賃	桜井 正応 (株)日新 国際営業第一部 部長
	13:00~14:50	海上運送における危険物概論	危険物海上輸送の基礎知識(クラス・容器等級・試験方法と判定基準等)、容器包装、運送手続き(表示方法・運送書類への記載事項等)、運送方法	飛延 孝男 一般社団法人日本海事検定協会 安全技術室 上席危険物研究員
	15:00~17:00	国際物流におけるコスト削減に向けた取り組み~海上輸送を中心として~	海上コンテナと今後の貿易、国際物流におけるコスト削減の事例、コンテナラウンドユース事例、内陸デポの現状と課題	荻原 克郎 日触物流(株) 顧問(シニアアドバイザー)
10月4日(水)	9:30~12:30	海上貨物輸送概論	船で貨物を輸送することとは、各輸送手段とその特質、コンテナの荷動き統計、海運業の特殊性、今後の課題	合田 浩之 東海大学 海洋学部 特任教授
	13:30~15:00	海上個品運送契約／船荷証券／Sea Waybill／複合運送証券	運送契約・船荷証・海上運送状等の説明(特徴・注意事項)、船荷証券統一条約と国内法、複合運送証券、複合運送人の責任体系	田村 健次 (株)MTI 取締役 営業グループ長
	15:10~16:40	国際物流におけるコールドチェーンと特殊・冷凍コンテナ	国際物流におけるコールドチェーン、特殊コンテナの種類、冷凍コンテナの概要、取り扱いにおける注意点、輸送の流れ	事務局
	16:40~17:00	第5単元グループ討議 事前準備レポート出題	第5単元のグループ討議の前に、受講者の方々にテーマを出題し、レポートにまとめていただくことで、討議前の準備をしていただきます	
レポート提出日			2017年10月23日(月) 13:00まで	

会場 JILS 研修室

第4  
単元

## 航空輸送の仕組みとポイントを理解する

商品ライフサイクルの短縮化やグローバルにおける在庫の最小化への対応を進める上で、航空貨物輸送の果たすべき役割は大きい。本単元では、航空貨物輸送の概論からインテグレーターやフォワーダーの取り組みまで、分かりやすく解説する。

(敬称略)

日 程	時 間	講義テーマ	講義内容	講 師
10月18日(水)	9:30~15:30	航空産業概論 航空貨物輸送概論 航空協定航空運送約款と航空運送状 航空貨物運賃	航空輸送の仕組み(メリット・種類・業務フロー等)と輸送環境、航空輸送に関わる条約・約款、運賃の算出方法・Chargeable Weightの決定方法	土川 孝 (株)ANA 総合研究所 大学連携グループ 主席研究員 古家 光博 (株)ANA Cargo 総務企画部 教育訓練科 マネジャ
	15:40~17:40	フォワーダーとインテグレーターのグローバルロジスティクス展開	フォワーダーとは、日本のフォワーダーの紹介、ITシステムの紹介、企業の展開事例と今後の可能性、インテグレーターの紹介とトレンド	鈴木 伸彦 (株)ジュリアンウッドベル 代表取締役
レポート提出日			2017年11月9日(木) 13:00まで	

会場 10/19 JILS 研修室  
11/9~11/10 タイム24ビル第5  
単元

## グローバルサプライチェーンの可視化と最適化の手法を学ぶ

物流・ロジスティクスの高度化、効率化を考える上で在庫管理やSCM、3PLは重要なテーマである。本単元では、それらの理論とともに実例を交えて解説する。また、これまでの単元で習得した事項を踏まえたグループ討議にも取り組む。

(敬称略)

日 程	時 間	講義テーマ	講義内容	講 師
10月19日(木)	9:30~12:30	グローバルサプライチェーンにおけるKPIの算定と既存業務プロセスの見直し	調達ネットワークを踏まえたコストの可視化と課題の抽出方法、KPIの算定方法、既存業務プロセス見直しにあたってのポイント、改善事例の紹介	橋本 雅隆 明治大学 専門職大学院 グローバル・ビジネス研究科 教授
	13:30~15:30	グローバルサプライチェーンの実務	SCMにおける競争戦略、全体最適へのアプローチ、ビジネスモデルとSCM全体最適を目指す在庫戦略、在庫が多いとなぜ悪い?、改善の取り組み事例	平山 基 (株)シーモット 代表取締役
	15:30~17:00	企業事例	SCM改革における課題の抽出、解決に向けた取り組みとその成果、課題解決のための視点とは	講師調整中
11月9日(木)	9:30~12:30	グローバル3PL 概論	3PLの基本理解、日本と海外の3PLの現状、3PL活用で注意すべき点・必要なこと、業務委託時の契約・料金のポイント	中谷 祐治 ロジ・ソリューション(株) 常務取締役 戦略コンサル部長
	13:30~15:00	国際物流における3PL 導入事例	荷主から見る3PL戦略の策定要素・選定基準・審査イメージ、グローバル3PL導入事例	田中 秀憲 日本ビューレット・パッカード(株) 管理統括 国際物流部長 AEO 総括管理部門(兼ベトナムカスタムズ担当)
	15:10~16:40	国際物流における3PLの実践事例	3PLの考え方、国際物流における3PL受託事例 荷主の課題解決のためのプロセス、今後の展望	佐々木 治 日本通運(株) オートモーティブ事業支店 グローバル営業推進グループ(自動車部) 部長
11月10日(金)	9:30~17:30	グループ討議	設定されたいくつかのケースに基づき、事前準備レポートでの考察を踏まえて、グループ内で解決に向けた方策を検討していただきます	中谷 祐治 ロジ・ソリューション(株) 常務取締役 戦略コンサル部長
レポート提出日			2017年11月30日(木) 13:00まで	



## 現地見学

## 国際物流の最前線を、見学して感じる

(敬称略)

日 程	時 間	講義テーマ	講義内容	講 師
10月20日(金)	13:00～15:00	現地見学／羽田空港 貨物ハンドリング施設	現地を見学しながら、業務の流れについて説明をいただきます	(株) ANA Cargo
	16:00～17:30	現地見学／大井埠頭 コンテナターミナル	※本プログラムは自由参加となり、資格認定規程には含まれません	日本郵船(株)

会場 JILS 研修室

第6  
単元

## 国際物流のリスクを理解し、対処する方策を学ぶ

企業活動におけるリスクマネジメントの重要性はますます高まっている。本単元では、国際物流におけるリスクの概要と、特に重要となる貨物事故防止対策、並びに貿易貨物保険とクレーム手続のポイントについて解説する。

(敬称略)

日 程	時 間	講義テーマ	講義内容	講 師
11月21日(火)	9:30～12:00	リスクマネジメント概論	リスクマネジメントとは、基本的な進め方(リスク特定・分析・評価)と留意点、各企業の取り組み	田代 邦幸 (株)サイエンスクラフト 防災部 上席コンサルタント
	13:00～14:30	国際物流における BCP の策定	災害とロジスティクスの関係、BCP の考え方と重要性 BCP 策定の手順やポイント、BCP の策定事例の紹介	興村 徹 (株)日通総合研究所 Senior Executive Officer (Sales Development Unit)
	14:40～17:40	国際物流におけるリスクマネジメントとロスプリベンション	リスクマネジメントの重要性、リスク確認の重要性と分析手法の例、国際物流クレームの現状と特殊リスク、ロスプリベンション検討の実例	能勢 正貴 一般社団法人日本海事検定協会 検査第一サービスセンター 部長
11月22日(水)	9:30～11:30	国際物流におけるリスクマネジメント事情	危機管理対策と策定した BCP の紹介、リスク発生時の対応事例	講師調整中
	12:30～16:00	貿易貨物保険とクレームの実務	外航貨物海上保険の特色、貨物海上契約について(約款の説明)、貨物海上保険におけるリスクの判定と保険料率の算定、クレーム手続	橋本 浩介 東京海上日動火災保険(株) 海上業務部 部長(貨物業務グループリーダー兼務)
レポート提出日		2017年12月7日(木) 13:00まで		

会場 JILS 研修室

第7  
単元

## 海外の最新物流環境を学ぶ

物流コストを削減しつつ、高品質な国際物流を構築するためには、海外の物流状況を把握することが不可欠である。本単元では、各地域における物流インフラ、通関等の物流事情について、最新事情を盛り込みながら解説する。

(敬称略)

日 程	時 間	講義テーマ	講義内容	講 師
12月5日(火)	9:30～11:30	インドの最新物流事情	インド市場の魅力(消費地・生産地・物流業等の視点から)、インド物流の実態・他国との比較、インドで成功する鍵は	大森 幹雄 日本ロジスティクスシステム協会 JILS アドバイザー
	12:30～14:30	欧州の最新物流事情	EU の概要と日本との関係、地域別の物流・インフラ事情(オランダ・トルコ)、取り組み事例の紹介	名取 一茂 (株)バンテック 事業統括本部 営業開発本部 自動車・産機営業部 部長
	14:40～16:40	米国の最新物流事情	アメリカ物流の現状(港湾・空港・トラック・鉄道) アメリカにおける通関手続きについて、物流改革事例の紹介	講師調整中
12月6日(水)	9:30～12:30	東南アジアの最新物流事情	日本・ASEAN を取り巻く現状、ASEAN 新興国が目される理由、ASEAN 域内の産業別動向(コールドチェーン等)、ASEAN の今後	石原 伸志 東海大学 海洋学部 客員教授
	13:30～16:30	中国の最新物流事情	中国経済と物流事情、中国物流の変遷、中国物流の難しさ、保税制度の重要性、関連規制の説明、事例の紹介	栗田 幸武 (株)アルプス物流 営業本部 第二営業推進部 理事・部長

会場 JILS 研修室

第8  
単元

## グローバル企業が直面した課題と解決方法を学ぶ

経済成長が著しい中国や東南アジア等の新興国では、現地における物流構築・改善の重要性がますます高まっている。本単元では、海外現地においてこれらの取り組みを進める上でのポイントについて解説する。

(敬称略)

日 程	時 間	講義テーマ	講義内容	講 師
1月18日(木)	9:30~10:30	客観試験	第1~6単元までの各講義内容から出題されます	事務局
	11:00~15:00	海外における SCM・ロジスティクス改善事例	各地で直面していた物流課題と解決に向けた取り組みの紹介、SCM・ロジスティクス管理のあり方・業務診断のチェックポイント	魚住 和宏 前 味の素物流(株) 理事
		海外駐在における駐在員の心得	バランスシートの見方、物流管理のあり方	
	15:10~17:40	IT による国際物流の見える化	可視化すべき情報は何か、各プレイヤーが必要とする情報統合物流システムの紹介、運用上の課題と展開への示唆	寺田 猛史 鴻池運輸(株) 経営改革本部 部長
1月19日(金)	9:30~12:30	海外現地における人材マネジメント方策	人事領域の経営課題、日本のマネジメントの問題点とはグローバルビジネスリーダーの戦略思考	町田 秀樹 (株)アスピレックス 代表取締役社長
	13:30~15:30	海外現地における物流構築・改善の実際①	三菱電機の物流改善方針、グローバルロジスティクス最適化に向けた取り組み	福美 晃生 三菱電機(株) ロジスティクス部 技術グループマネージャー
	15:40~17:40	海外現地における物流構築・改善の実際②	駐在員の体験に基づく、ベトナム他 ASEAN におけるインフラ・ビジネス環境の現状認識、課題把握と解決に向けた取り組み事例	高山 洋 住商グローバル・ロジスティクス(株) 執行役員 国際事業本部 本部長 兼 物流企画営業部長

会場 タイム24ビル

第9  
単元

## あるべき姿に到達するための実践力を身につける

グローバルな事業展開を行っている企業のロジスティクス改革をテーマに据えたケーススタディにグループで取り組む。サプライチェーンマップ分析や在庫分析等、SCM の視点に立った課題抽出方策や改革・改善技法を学ぶ。

(敬称略)

日 程	時 間	講義テーマ	講義内容	講 師
2月1日(木)	9:30~18:00	ケーススタディ 「グローバルロジスティクス改革」	グローバルな事業展開を行っている企業のロジスティクス改革をテーマに、サプライチェーンマップ分析や在庫分析等、SCM の視点に立った課題抽出方策や改革・改善技法をグループ討議を通じて学んでいただきます	池田 篤彦 (株)日本能率協会コンサルティング サプライチェーン革新センター テクニカルアドバイザー シニア・コンサルタント
2月2日(金)	9:30~17:00			

会場 JILS 研修室



## 資格認定証授与式

日 程	時 間		
3月9日(金)	15:00~17:30	資格認定証授与式・懇親会	資格認定証の授与



## 資格認定について

### 修了基準

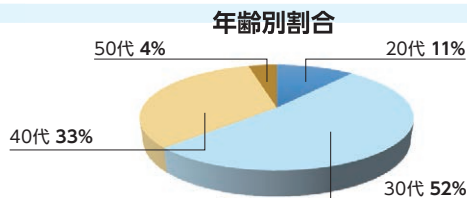
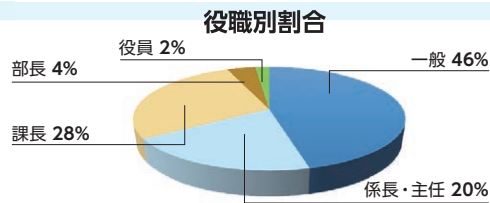
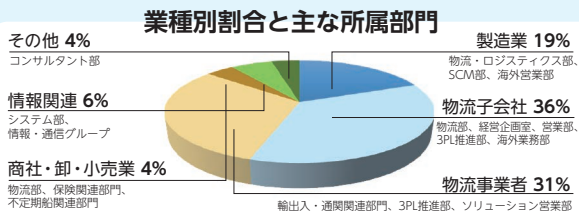
- i) 14日以上出席すること。
- ii) 該当する単元で出題されるレポート試験を全て受験していること。
- iii) 客観試験を受験していること。
- iv) 第9単元「ケーススタディ」に2日間出席すること。

### 合格基準

	①レポート試験（5回）					②客観試験	③欠席減点	④総合平均点 {(①+②)÷6}-③
	第2単元	第3単元	第4単元	第5単元	第6単元			
配点	100点	100点	100点	100点	100点	100点	1日欠席：1点減点 半日欠席：0.5点減点	100点
合格基準	70点以上	70点以上	70点以上	70点以上	70点以上	70点以上		70点以上
提出日/実施日	10月6日	10月23日	11月9日	11月30日	12月7日	1月18日		

※資格認定規程の詳細は、講座の開講時に、事務局よりご説明いたします。

### 過去5年間の国際物流管理士資格認定講座 受講者属性



### 第38期国際物流管理士資格認定講座 資格取得者の声

山崎 大輔氏（東京海上日動火災保険株式会社 コマースル損害部・関西海損サービス課 担当課長）

私が担当する貨物保険の事故対応から派生する「事故防止提案」や「海外物流リスクの情報提供」に関する領域は、複雑化するグローバルサプライチェーンや拡大が進む EPA・FTA の最新動向と密接に関わっており、「国際物流管理士資格認定講座」を通じて、国際物流に関わる専門知識を体系的に学び、実務に活かすヒントを得られるといった観点からも、自身のスキルアップに有用なものと考えました。

講師陣は、物流業界の第一線で活躍されており、国際物流に関わる上で欠かせない国際間取引の規定や慣習、物流改善に必要な技法や心構えなどを広範囲に渡って講義してもらえますので、一定程度の実務をこなしている方でも、新しい知見が得られることは間違いないと考えます。実際に、講師の皆様と積極的に情報交換を行えたことで自身の担当業務に活かせることも魅力の1つでした。また、受講者は様々な業種の方が集まりますので、グループディスカッションなどを通じて関係も深まり、新たな人脈が構築できたことはかけがえのない財産となりました。

現在は、資格取得で得られた知見や人脈を活用して、保険に関わるサービスを複合的に提供できるよう、実践に取り組んでいます。

## 国際物流管理士専門委員会 委員名簿

本講座は、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会が主催し、第一線で活躍されている学識経験者や実務家で構成された能力開発委員会 国際物流管理士専門委員会によって企画・運営されています。

（敬称略・順不同）

委員長	石原 伸志	東海大学 海洋学部 客員教授
副委員長	小林二三夫	横浜商科大学 商学部 教授 地域産業研究所 所長
委員	土川 孝	株式会社 ANA 総合研究所 大学連携グループ 主席研究員
//	山縣 敏憲	港湾職業能力開発短期大学校 横浜校 非常勤講師
//	鈴木 伸彦	株式会社ジュリアンウッドベル 代表取締役
//	高山 洋	住商グローバル・ロジスティクス株式会社 執行役員 国際事業本部 本部長 兼 物流企画営業部長
//	橋本 浩介	東京海上日動火災保険株式会社 海上業務部 部長（貨物業務グループリーダー兼務）
//	荻原 克郎	日触物流株式会社 顧問（シニアアドバイザー）
//	久保田圭二	日本郵船株式会社 法務・フェアトレード推進グループ グループ長
//	笛田 和広	日立建機ロジテック株式会社 業務部 副部長
//	福美 晃生	三菱電機株式会社 ロジスティクス部 技術グループマネージャー

# 受講申込書

# 申込FAX:(03) 3436-3190

## 第39期国際物流管理士資格認定講座

開催期間：2017年9月～2018年3月

BA1712

(フリガナ) 会社・事業所名		<input type="checkbox"/> 会 員 <input type="checkbox"/> 会員外	支払予定日 (開催後になる場合はご記入をお願いします) 月 日 支払予定					
(フリガナ) 派遣責任者		所属・役職名						
勤務先住所 〒 -		TEL : - - FAX : - - E-mail :						
(フリガナ) 受講者1	生年月日 (西暦) 年 月 日	所属・役職名		受付 NO				
勤務先住所 〒 -	TEL : - - FAX : - - E-mail :							
有資格： <input type="checkbox"/> 物流技術管理士補 <input type="checkbox"/> 物流技術管理士 <input type="checkbox"/> グリーンロジスティクス管理士 <input type="checkbox"/> 物流現場改善士								
単元聴講	1	2	3	4	5	6	7	8
(フリガナ) 受講者2	生年月日 (西暦) 年 月 日	所属・役職名		受付 NO				
勤務先住所 〒 -	TEL : - - FAX : - - E-mail :							
有資格： <input type="checkbox"/> 物流技術管理士補 <input type="checkbox"/> 物流技術管理士 <input type="checkbox"/> グリーンロジスティクス管理士 <input type="checkbox"/> 物流現場改善士								
単元聴講	1	2	3	4	5	6	7	8
名 円 (請求書は原則として、合計金額を派遣責任者の方にお送りいたします。その他、請求先のご希望は「協会への連絡事項」へご記入ください。)								

協会への連絡事項	受付日	請求日	請求番号

## 受講申込規程

### ◆受講料

- ◆当協会会員 ..... 総額432,000円/1名  
(受講料400,000円+消費税32,000円)
- ◆会 員 外 ..... 総額540,000円/1名  
(受講料500,000円+消費税40,000円)

### ◆有資格者優待

- 当協会の認定する下記資格を持つ方は優待料金にてご受講いただけます。  
(対象:「物流技術管理士補」「物流技術管理士」「グリーンロジスティクス管理士」「物流現場改善士」)
- ◆当協会会員 ..... 総額378,000円/1名  
(受講料350,000円+消費税28,000円)
  - ◆会 員 外 ..... 総額486,000円/1名  
(受講料450,000円+消費税36,000円)

### ◆単元聴講

特定の単元のみご受講いただくことができる制度です (第9単元を除く)  
(1単元・1名様あたりの金額:消費税込)

- ※申込書の該当単元に○を記入して下さい。
- ◇当協会会員 第5単元 ..... 81,000円/単元
  - 第5単元以外の各単元 ..... 54,000円/単元
  - ◇会 員 外 第5単元 ..... 90,720円/単元
  - 第5単元以外の各単元 ..... 60,480円/単元

### ◆受講料に含まれるもの

①テキスト、資料代 ②審査料

### ◆定員 35名 (定員になり次第、締め切らせていただきます。)

### ◆受講申込方法

◆WEBまたはFAXで受け付けています。

WEBの場合 当協会ホームページの本プログラムのページよりお申し込みください。

トップ → 資格講座・セミナー → 資格認定講座 → 国際物流管理士資格認定講座

※当協会のホームページは [www.logistics.or.jp](http://www.logistics.or.jp) または「JILS」で検索してください。

FAXの場合

◆上記の申込用紙に必要事項を明記のうえ、FAXにて事務局までお申し込みください。

◆「参加証」と「請求書」は受講日の約1週間前までにお送りいたします。お手元に届かない場合には、ご連絡をお願いいたします。

◆本講座の受付は、先着順、定員になり次第、締め切らせていただきます。あらかじめご了承のほど、お願い申し上げます。詳しくは事務局までお問い合わせください。

### 【開講日直前のお申し込みについて】

◆定員に余裕のある場合は直前での受付も行いますので、事前に事務局へご確認ください。

### ◆受講料支払い方法

- ◆請求書が届き次第、指定の銀行口座にお振込みください。
- ◆お支払いは原則として開催前日までをお願いいたします (開催後になる場合は、支払予定日を申込書の支払予定日欄に明記してください)。
- ◆振込手数料は、お客様にてご負担願います。

### 【お願い】

◆受講予定の方のご都合がつかない場合は、全単元を代理の方が受講してください。なお、代理の方のご出席も不可能な場合は、下記の規定によりキャンセル料を申し受けますので、あらかじめご了承ください。  
(注) キャンセルはFAXでのご連絡のみ申し受けます。

### 【キャンセル規定】

- ◆開催7日前～前々日 (開催初日を含まず起算) (消費税を除く) 受講料の30%
- ◆開催前日および当日 ..... (原則として消費税を除く) 受講料の全額

### ◆ご注意

- ◆テキストは会場でお渡しいたします。(テキストのみの販売等は一切行っておりません)
- ◆講義中の撮影・録音・録画は禁止いたします。

### ◆申込先／プログラム内容のお問い合わせ先

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JILS総合研究所  
〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1スズエベイディウム  
TEL (03) 3436-3191 FAX (03) 3436-3190

### ◆会場案内

- ◆公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会  
東京都港区海岸1-15-1スズエベイディウム TEL (03) 3436-3191
- ◆タイム24ビル  
東京都江東区青海2-4-32 TEL (03) 5531-0024

### ◆個人情報のお取扱いについて

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー (<http://www.logistics.or.jp/privacy.html>) をご覧ください。  
お客様にご記入いただきました個人情報は、本講座に関する確認・連絡・受講者名簿の作成および当協会主催の開催催し物のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

JILSホームページ <http://www.logistics.or.jp>